

外国語活動 学習指導案

学校名 廿日市市立佐方小学校
指導者 T 1 外国語担当 太田 絢子
T 2 A L T Stewart Rodney
T 3 学級担任 加藤 葉子

1 日 時 平成31年2月8日(金) 13:40~14:25

2 学 年 第5学年2組 (34名)

3 単元名 Who is your hero?

「誰の hero? 伝え合おう My hero!」

(We can1, Unit9)

4 単元について

○ 本単元は、自分のあこがれの人を題材としており、単元のゴールには自分のあこがれの人について紹介し合うという活動を設定している。既習表現である can に加え、ここでは be good at ~ 「～が得意である」の表現に出会う。できることや得意なことを交流したり認め合ったりする中で、自尊感情が育つと思われる。単元終末には「読むこと」に関して、hero カードを読み合い、誰の hero かを当てる活動を設定している。そのため、自分が伝えたい内容を表す語句や表現を書く活動を設定している。また、読むことで誰の hero かを推測し、その人へ hero カードを返却する。答え合わせの際に、お互いの hero(考え)を伝え合う活動も設定することで、楽しみながら読むこと、書くことに慣れ親しませることを目標としている。

○ 本学級の児童は、第4学年に年間35時間の外国語活動の授業を受けている。また、前時までに新しく来られた A L T の先生について知るために”What do you like?” を使って1対1でやり取りをしたり、クラスのお楽しみ会に A L T の先生を呼び”What’s this?” の表現を使ってクイズ大会をしたり、“Where do you want to go?” の表現を使って、平和公園の観光客とやり取りをしたりする経験を通して、英語でのやり取りに少しずつ自信をつけてきた。また、She can, He can の表現を使って友達について紹介し合い、紹介カードを書くことにもチャレンジしている。

事前に行ったアンケート調査結果、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる「読むこと」に関するレディネステストの結果は以下の通りである。レディネステストは既習表現での調査となるので、今回の単元の新出表現とは関係がないようにも思えたが、これまでの成果の把握と、これからの研究に生かすために行った。内容は、既習の英語表現が書かれたものを読ませ、それに当てはまる絵を、複数の中から1つ選択するものである。

アンケート調査項目 (34名)	肯定的評価 (%)
①外国語活動の授業には進んで参加しています。	97
②外国語活動の授業では、英語を使う場面を考えながら活動しています。	91.1

③相手がゆっくりはっきりと話していれば、どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	100
④相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、だいたいの内容が分かります。	91.1
⑤英語でやり取りをする時には、相手の言ったことにならずいたり、英語で返事したりしています。	100
⑦英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。	91.1
⑧英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちを伝えています。	97
⑨英語の文字（アルファベット）を読むことができます。	88.2
⑩英語を読む時は、単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	94.1
⑪英語を書く時には、単語の間を空けるなど、英語の書き方のきまりを守っています。	100
⑫英語を書く時には、単語を並べる順番を考えながら書いています。	97

<読むことレディネステスト>

英文	正答率 (%)	英文	正答率 (%)
①He can play soccer.	94.1	⑤He can't play the piano.	87.8
②She can't do kendo.	94.1	⑥She can cook.	87.8
③I like science.	73.5	⑦I like cats.	79.4
④I don't like math.	91.1	⑧I don't like dogs.	76.4

以上の結果から、本学級の児童は、概ね意欲的に学習に取り組んでいると言える。

大文字・小文字を活字体で「書くこと」、音声で十分に慣れ親しんだ表現を「書き写すこと」に関するレディネステストでは、アルファベットの名称を聞いてそのアルファベットを書くこと、これまでに学んだ表現を書き写すことを実施した。大文字の X,W 小文字の x,w 等大文字と小文字で形が同じものは、90%以上の児童が聞いて書くことができた。一方「VとB」、「MとN」、「GとZ」など、音が似ているアルファベットの混同、小文字の「l, j, f, d」の高さや鏡文字が目立った。今回のテストでは、全体的に小文字の正答率が低く、「f」が24.2%、次いでlが39.3%だった。自分の名前をアルファベットで書くことができる児童が85%であった。15%の児童がアルファベットの高さや鏡文字（d）、誤字を書いており、引き続き名前を書くことにも慣れることが必要であることが分かった。「I can swim.」という文を書き写すテストでは、85%の児童が字間に気を付けながら書くことができ、15%の児童はピリオドを付け忘れたり、nをmに書き間違えたりしていた。

一方で、「英語の文字を読むことができます。」の質問に対しては、肯定的に答えた児童は88.2%だった。児童は前単元で can や can't,動作についての表現をやり取りしたり、書いたりして慣れ親しんできた。その為か、①②⑤⑥の英文はどれも9割近くの児童が読むことができています。一方、やり取り中心で慣れ親しんできた like を使った英文の読み取りは、上述したものに比べて正答率が低い。これらのことから、「話す」「読む」「書く」ことを関連付けて取り組むことが、より児童に力をつけることにつながると考えられる。また、cats や dogs よりも「math」の正答率が高いことから、「math」は、児童にとっては短く親しみやすい単語であるのかもしれないと捉えた。このことを踏まえ、本単元の終末では、やり取りや書くことで慣れ親しんだ表現を「読むこと」に自信をつけ

させたい。

○ 指導に当たっては、児童に「自分のあこがれの人について友だちと伝え合う」というゴールイメージを持たせるために、単元の始めに教師のあこがれの人について紹介し、モデルを示す。世界の子どもたちのあこがれの人とその理由について映像を視聴し、あこがれの人について話す際の基本的な表現や状態、気持ちなどの新出表現、既習の動作の表現にラッキーカードゲームやマッチングゲーム等を通して慣れ親しませる。これらの表現に慣れ親しませる活動は、単元終末の読む活動に入るまでに、児童が推測して読むことができるようにするために設定したものである。また、音声で慣れ親しませたこれらの表現を使って、話したい内容を整理し、カードに書かせる活動も行う。書く活動の際には、レディネステストで課題が多かったアルファベットに意識を向けられるようにし、楽しみながら慣れ親しませることで自信をつけさせたい。単元の最後に、友だちが書いたカードを読んで、誰のカードか当てる活動を設定することで、やり取り、書くこと、読むことの3技能を統合的に育成することをねらっている。単元の最後である本時では、Small Talk からの流れを「ALTのあこがれの人について『読む』→ALTの発音を『聞く』→内容を捉えた後にもう一度『読む』」とスモールステップで進め、本時終末のLet's Readでは、楽しみながら抵抗なく、友達のカードを読むことができるようにさせたい。

5 単元目標

【コ】・あこがれの人について、自分の考えや気持ちを伝え合おうとする。

【慣】・あこがれの人について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

・あこがれの人について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例文を参考に書き写したりすることに慣れ親しむ。

【気】・英語と日本語の音声面の違い等、言葉の面白さに気付く。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・あこがれの人について、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。	・あこがれの人について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ・あこがれの人について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例文を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。	・英語と日本語の音声面の違い等、言葉の面白さに気付いている。

7 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	あこがれの人について、やり取りやカードを読むことを通して、友達と伝え合う。
目指す児童の姿 (話すこと[やり取り])	A: Who is your hero? B: He is my father. He is my hero.

	<p>A: Why?</p> <p>B: He is good at playing soccer. He is cool.</p> <p>A: That's cool.</p> <p>B: Thank you. Who is your hero?</p>
<p>目指す児童の姿 (書くこと)</p>	<p>He is my father.</p> <p>He is my hero.</p> <p>He is good at playing soccer.</p> <p>He is nice.</p>

8 言語材料 (下線は新出表現, 語彙)

主な表現	主な語彙
<p><u>Who is your hero?</u></p> <p>[He/ She] <u>is my (father).</u></p> <p>[He/ She] <u>is good at (playing soccer).</u></p> <p>[He/ She] is [cool/ great/ /nice]</p> <p>How about you?</p> <p>That's [cool/ great].</p>	<p><u>職業名 (児童の希望に沿って)</u></p> <p><u>hero, family</u>, 状態・気持ち (cool, great, nice)</p> <p>[既出] 状態, 気持ち, 動作, スポーツ, 家族など</p>

9 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと [やり取り]	イ日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ自分のことや身近で簡単な事柄について, 例文を参考に, 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

10 単元計画 (全6時間)

時	目標 (◆) と主な活動 ([], ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点 <方法>	表現例
1	<p>◆教師のあこがれの人について聞き, あこがれの人について紹介する表現の仕方が分かるとともに, 単元の見通しを持つ。</p> <p>○Small Talk:先生のあこがれの人</p> <p>・教師のあこがれの人について聞き, 単元のゴールイメージを持つ。</p> <p>○【Let's Watch and Think1】 p.66,67</p> <p>・映像資料を視聴し, 自分にとってのヒーローについて話すのを聞き, 分かったことを話し合う。</p>	<p>◎【気】英語と日本語の音声面の違い等, 言葉の面白さに気付いている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	<p>・ <u>Who is your hero?</u></p> <p>・ [He/ She] <u>is my~.</u></p> <p>・ [He/ She] <u>is my hero.</u></p> <p>・ [He/ She] <u>is good at (playing</u></p>

	<p>○ポインティングゲーム p.71(職業) ・ 職業の表現に慣れ親しむ。</p> <p>○キーワードゲーム p.71 (職業) ・ 職業の表現に慣れ親しむ。</p>		<p><u>soccer</u>).</p>
2	<p>◆自分のあこがれの人について、尋ねたり答えたりする。</p> <p>○Small Talk:あこがれの人</p> <p>○ラッキーカードゲーム p.71 ・ 職業の表現に慣れ親しむ。</p> <p>○【Let's Watch and Think2】 p.66,67 後半 ・ 映像資料を視聴し、分かったことを話し合う。</p> <p>○【Let's Chant】 Who is your hero?p67</p> <p>○Let's Talk1 ・ 自分のあこがれの人について一部の友だちと伝え合う。</p> <p>○Let's Read and Write1 ・ あこがれの人を書き写したり、自分のあこがれの人を書いたりする。書いたものを声に出して読み合う。</p>	<p>◎【慣】あこがれの人について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>◎【慣】・あこがれの人について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例文を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。<行動観察・振り返りカード点検></p>	<p>・ Who is your hero?</p> <p>・ [He/ She] is my~.</p> <p>・ [He/ She] is my hero.</p>
3	<p>◆第3者の得意なことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○Small Talk:あこがれの人の得意なこと</p> <p>○【Let's Listen 2】 p.68 ・ 音声を聞いて、登場人物と得意なことやできることのイラストを線で結ぶ。</p> <p>○ポインティングゲーム (得意なこと)</p> <p>○キーワードゲーム (得意なこと)</p> <p>○Let's Talk 2 ・ 自分のあこがれの人について一部の友だちと伝え合う。</p> <p>○Let's Read and Write2 ・ 例を参考に、得意なことを書き写したり、選んで書いたりする。書いたものを声に出して読み合う。</p>	<p>◎【慣】あこがれの人について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>◎【慣】・あこがれの人について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例文を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。<行動観察・振り返りカード点検></p>	<p>・ [He/ She] is good at (playing soccer).</p> <p>・ That's [cool/ great].</p>
4	<p>◆あこがれの人や、その人の得意なことなどについてやり取りする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○キーワードゲーム (hero/得意なこと)</p> <p>○Small Talk:あこがれの人はどうな人?</p> <p>○ポインティングゲーム (状態)</p> <p>○マッピングゲーム (得意なこと/特徴)</p>	<p>◎【コ】あこがれの人について、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	<p>・ Who is your hero?</p> <p>・ [He/She] is my~.</p> <p>・ [He/She] is good at ~.</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・動作/状態の表現に慣れ親しむ。 <p>○Let's Talk3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あこがれの人について伝え合う。 ・児童や教師によるモデルを示しながら、反応を加えたり、話す順番を入れ替えたりするなどの工夫ができることを捉える。 <p>○Let's Read and Write3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あこがれの人がどんな人かを選んで書き写したり書いたりする。書いたものを声に出して読み合う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ [He/ She] is~. ・ That's [cool/ great].
5	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分のあこがれの人とその理由についてカードに書く。 <p>○【Let's Chant】 Who is your hero?p67</p> <p>○キーワードゲーム (hero/得意なこと/特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、聞き取ったことを記入する。 <p>○マッチングゲーム (得意なこと/特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作/状態の表現に慣れ親しむ。 <p>○Let's Talk4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あこがれの人についてやり取りをする。 <p>○Let's Read and Write4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までのワークシートを参考にし、文字の高さや語間などに気をつけてカードを書く。 	<p>◎【慣】・あこがれの人について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例文を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。<行動観察・振り返りカード点検></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Who is your hero? ・ [He/She] is my~. ・ [He/She] is good at ~. ・ [He/ She] is~. ・ That's [cool/ great].
6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ◆あこがれの人について書かれたカードを読み、内容が分かる。 <p>○マッチングゲーム (得意なこと/特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作/状態の表現に慣れ親しむ。 <p>○Small Talk:あこがれの人</p> <p>○Let's Read:配布されたクラスの中の誰かのカードを読み、内容についてグループで交流する。</p>	<p>◎【慣】あこがれの人について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。<行動観察・振り返りカード点検></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Who is your hero? ・ [He/She] is my~. ・ [He/She] is good at ~. ・ [He/ She] is~. ・ That's [cool/ great].

1 1 本時の展開

(1) 目標

- ・ あこがれの人とその理由について伝え合ったり、友だちのカードを推測しながら読み、内容について話し合ったりする。

(2) 評価規準

- 【慣】・ あこがれの人について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。

(3) 準備物

児童用テキスト、ワークシート、デジタル教材、絵カード、振り返りカード

(4) 展開(6/6)

・ 児童の活動	時間	・ 指導者の発問/動き			・ 指導上の留意点 ◎評価規準 <方法>
		T1	ALT	T3	
13:40 授業開始					
1.あいさつをする。	1	T1: Hello. How are you? ALT: What day is it today? ALT: What's the date? How's the weather? ALT: 月日や天気などにまつわる簡単な話をして児童とやり取りをする。			・ 反応を促しながら、ゆっくりはつきりとあいさつをする。
13:41 Small Talk タイマーALT:5分(Small Talk) 7分(マッチングゲーム)					
2.Small Talk ・ペアを替えて数回対話をする。 ・教師同士の Small Talk から、話す順を変えても伝わることをつかみ、可能であれば、自分の Small Talk に生かす。	5	A: Who is your hero? B: He is my hero. He is Anpanman. A: Why? B: He is good at helping people. He is cool. A: That's nice. B: Who is your hero? A: She is a comedian. She is my hero. B: Why? A: She is nice. She is good at dancing. B: That's cool.			・ 既習表現を扱い、復習と定着を図る。 ・ 児童を会話に巻き込み、自然な形で児童同士の Small Talk に持ち込む。
		・ 児童同士のやり取りでは、反応したり聞き返したりさせて会話が長くように意識させる。	・ 机間巡視して児童のやり取りを聞き、支援したり、褒めたりする。	・ 机間巡視して児童のやり取りを聞き、支援したり、褒めたりする。	

3.単元の既出表現 (得意なこと/状態) を復習する。 ・マッチングゲーム をする。	7	・ゲームの指示 を出す。	・やり取りの際に 使うセンテ ンスの形でゲー ムをさせる。 ・カードを片付け た児童にWS を持って帰ら せる。	・ALTの後に続 いて発音 し、支援の いる児童に 対応する。 ・カードを片 付けた児童 にWSを持 って帰らせ る。	・机上に置かれた カードの中から 2枚を選ばせ、語 と絵のカードを マッチングさせ る。
--	---	-----------------	---	--	---

13:53 Today's Goal

4.単元の流れを振り 返り、本時の学習 課題を確認する。	1	・本時の課題を 提示して学習 の見通しを持 たせる。			
------------------------------------	---	-------------------------------------	--	--	--

hero カードを読んで、誰の hero か当てよう。

13:54 クラスの誰かのあこがれの人について読む・聞く タイマー-T3(8分「読む」+5分「音読」)

5.ALTのあこがれの 人について原稿を 読んだり、聞いたり し、その内容に ついて話し合う。 ①ALTのポスター を読む。 (文章を提示) ・自分で。	2	T1: (T3, ALTはWSを配布中) さあこれから hero カードを読んで、 誰の hero か当ててもらいます。その前に、このクラスの誰かの hero を 1人だけまず読んでもらおうと思います。 (電子黒板に提示) こちらです! さあ誰のヒーローでしょう? 今、みんな の手元にも配られました。まずは全体を見て、なんとなく何が書いて あるかを予想してみてください。1minutes.			
②内容についての質 問に答える。	3	T1: Who is this hero? SS: father! T1: That's right. He is his hero. He is his father. He is good at~? SS: cooking! T1: That's right. He is good at cooking. He is ~? SS: great!			絵カードを見せながら。
③教師が発音した語 を文章の中から見 つける。	3	T1: That's right. He is great. Can you find the word "father/ cooking/great." Let's find with your pairs! (father と cooking と great をペアで見つけて、 タッチしよう。) ヒントは... ↓ジングルにして、初頭音を聞かせる。 ALT: F f-f-father, C c-c-cooking G g-g-great			
④ALTの後に続い		T1: OK? 1 minutes. Start!			

<p>て、指で追いながら自分でも読む。</p>	5	<p>T1: Let's check! F f-f-father? C c-c-cooking? G g-g-great? SS: 指で指して声に出しながら答える。 T1: Great! Let's read together with point. ALT: He is my hero. SS: He is my hero. ALT: He is my father. SS: He is my father. ALT: He is good at cooking. SS: He is good at cooking. ALT: He is great. SS: He is great. ALT: Very nice voice. By yourself. 1・2 SS: 全てを指でなぞりながら読む。 T1: 誰の hero か分かりましたか？ (写真を提示する)That's right! Rodney sensei's hero is his father! それでは、今から友だちの hero カードを配ります。 <ALT, T3 配布する。></p>	<p>・一通り読んだり、内容について話し合ったりした後、誰が書いたカードかを考えさせる。</p>
-------------------------	---	--	--

14:07 Let's Read タイマー-ALT(8分「読む」+8分「交流」)

<p>6.クラスの中の誰かが書いたカードを推測しながら読み、分かったことをグループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で読み、分かったことについてワークシートに記入する。 ・分かったことをグループで交流する。 ・誰が書いた原稿かを推測し、その人へ返却する。 	2 5 1 8	<p>T1: (電子黒板で WS の拡大版を提示しながら)まず、左側の hero カードを読み、右側の欄になんとなく分かったことを書いてください。誰のカードかをなんとなく当てて名前を書いてください。最後に書いた人が嬉しくなるメッセージを書きます。質問は?では、ここまでを今から5分間で。なんとなくでいいから全て書いてくださいね。OK? <T1, ALT, T3 それぞれ机間指導をし、全員が5分以内に書ける様にサポートする></p> <p>T1: (5分後) Stop! 多分不安だと思うので、グループで分かったことを相談してもいいです。1分!どうぞ! まずは、1号車2号車の人立ちます。この人だと思った人の前へ行って、カードを渡し、Who is your hero?と聞いて会話を初めてください。合っていたらハイタッチ!4分です!Let's talk in partner! Go!</p>	<p>・読むことに困難を示している児童については、個別に対応し、語を発音して音を聞かせる。</p> <p>◎あこがれの人について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。<行動観察・振り返りカード点検></p>
--	--	--	--

14:23 Reflection

7.振り返りをする。 ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	2	・本時のねらいに照らして、評価し、賞賛する。	・本単元の既習表現を使って、児童を賞賛する。	・何人かに発表させる。	・何人かに発表させ、共有する。
---	---	------------------------	------------------------	-------------	-----------------

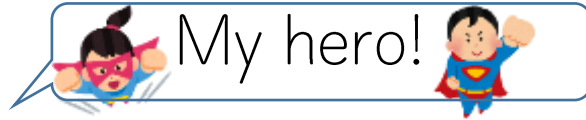
1 2 板書計画



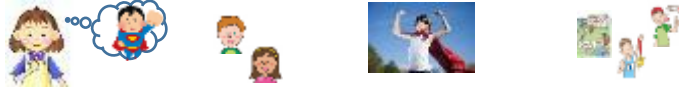
↑ここに nice, great, cool

1 (月 日 曜日)

My name _____



A large, empty rounded rectangular box for drawing or writing.



A series of horizontal lines for writing.

1. 誰の hero だと思いますか？

() さん・君の hero だと思う。

2. その理由は？どんなことが書いてあったから？

.....

.....

.....









3. 書いた人がうれしくなる，一言メッセージ😊

.....

() より)

◁Today's goal▷hero カードを読んで，誰の hero か当てよう 😊

<ふり返り>

①あこがれの人を紹介する表現を知ろう	②あこがれの人 はだれ？	③あこがれの人の得意なことをやり取りしよう。	④あこがれの人についてやり取りしよう。	⑤hero カードを書こう。	⑥誰の hero か当てよう。	
ふり返りポイント			よくできた	できた	もう少し	もっと
1 あこがれの人についてやり取りすることができた。						
2 カードにだいたい何と書いてあるか，読むことができた。						
3 Me, too.や That's nice.などの表現を使って反応した。			できた			

【慣】 あこがれの人についてやり取りしたり，書いたり読んだりしてみて気付いたことや感想

.....

.....

.....

.....

2 (月 日 曜日)

My name _____



A large, empty rounded rectangular box for drawing or writing.



Four horizontal lines for writing.



Four horizontal lines for writing.



Four horizontal lines for writing.



Four horizontal lines for writing.



1. 誰の hero だと思いますか？

() さん・君の hero だと思う。

2. その理由は？どんなことが書いてあったから？

.....

.....

.....

3. 書いた人がうれしくなる，一言メッセージ😊

.....

() より)

◁Today's goal▷hero カードを読んで，誰の hero か当てよう 😊

<ふり返り>

①あこがれの人を紹介する表現を知ろう	②あこがれの人 はだれ？	③あこがれの人の得意なことをやり取りしよう。	④あこがれの人についてやり取りしよう。	⑤hero カードを書こう。	⑥誰の hero か当てよう。	
ふり返りポイント			よくできた	できた	もう少し	もっと
1 あこがれの人についてやり取りすることができた。						
2 カードにだいたい何と書いてあるか，読むことができた。						
3 Me, too.や That's nice.などの表現を使って反応した。			できた			

【慣】 あこがれの人についてやり取りしたり，書いたり読んだりしてみて気付いたことや感想

.....

.....

.....

.....

3

(月 日 曜日)

My name _____

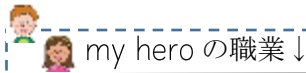


He/ She



_____ is my hero.

He/ She



_____ is _____

He/ She



_____ is good at _____

He/ She



nice/



great/



cool

_____ is _____

1. 誰の hero だと思いますか？

() さん・君の hero だと思う。

2. その理由は？どんなことが書いてあったから？

.....

.....

.....

3. 書いた人がうれしくなる，一言メッセージ😊

.....

() より)

◁Today's goal>hero カードを読んで，誰の hero か当てよう 😊

<ふり返り>

①あこがれの人を紹介する表現を知ろう	②あこがれの人 はだれ？	③あこがれの人の得意なことをやり取りしよう。	④あこがれの人についてやり取りしよう。	⑤hero カードを書こう。	⑥誰の hero か当てよう。	
ふり返りポイント			よくできた	できた	もう少し	もっと
1 あこがれの人についてやり取りすることができた。						
2 カードにだいたい何と書いてあるか，読むことができた。						
3 Me, too.や That's nice.などの表現を使って反応した。			できた			

【慣】 あこがれの人についてやり取りしたり，書いたり読んだりしてみて気付いたことや感想

.....

.....

.....

.....